

マネプロ・ベーシックとは

主な対象：プロパー職員

内容：学校教育に関する基礎的な仕組みについて深く学ぶ

関連する文献などを活用し、さまざまな問いをもとに自ら調べる
参加者同士で意見交換を行い、助言者との質疑応答を通じ理解を深める

目標：参加者が学校教育に対する自分自身の考えを形成し、
それを機構の業務に具体的に活かせるようになる、
またはその機運が高まること

大事にしたいこと！

- ・参加しやすさ
- ・ベーシックであること
- ・参加者主体の学び

参加しやすさ

事前課題なし

一回完結型

ゆるい雰囲気

楽しみを用意

誰が参加してもOK

ベーシックであること

Basic : 基本、基礎、基本的な

参加者主体であること

基本的に講師はいない

参加者一人ひとりが興味をもち、
調べてみたいと思ったことを自ら学ぶ

これまで実施した回について

第 1 回

10/7

就学義務

第 2 回

10/21

学習指導

第 3 回

11/19

授業づくり

第 4 回

12/6

生徒指導

第1回 就学義務

問い①：保護者が子どもをフリースクールに通わせることについて、どう考えるか？

保護者が子どもをフリースクールに通わせることは法令違反なのか？

問い②：就学義務を教育義務にという議論について、どう考えるか？

〔流れ〕

資料配布

(不登校をした人の手記、学校教育法 他3点)



フリースクールなどについて調べながら、

グループで問い①について対話



グループで問い②について対話

〔参加者の声〕

- ・子どもが学校に通いたくなく、フリースクールに通いたいのであれば良いのではないか。
- ・フリースクールに通っていた友人がいて、自由に学んでいる姿を見ていたため、全ての人が学校に通わなければならないとは思わない。
- ・保護者に「教育を受けさせる義務」はあるが、必ず学校に通わせなければならないのだろうか？

第2回 学習指導

問い：「教育は創意工夫が大事であり、何をどのように教えるかは、各教師が決めることができる」という意見についてどう考えるか？

〔流れ〕

資料配布

(小中高の学習指導要領、NITSからの提案、旭川学力テスト事件)



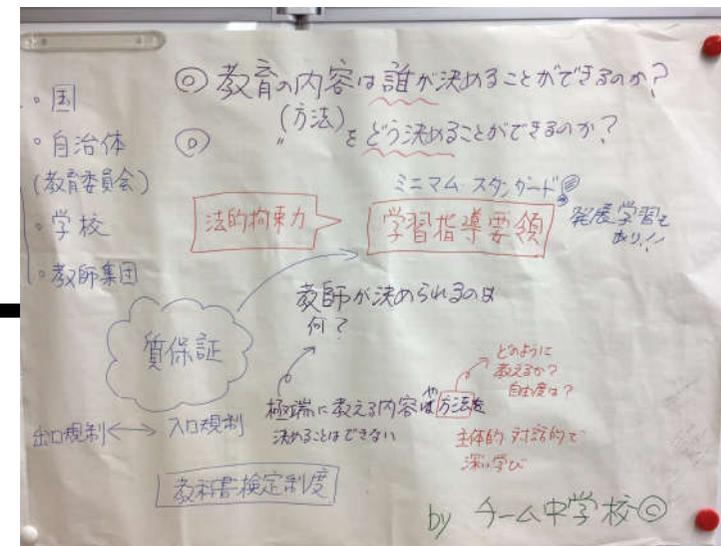
グループで資料を参考に問いに関する対話をし、話の内容を模造紙に書く



模造紙を貼り、互いに内容を見る

〔参加者の声〕

- ・学習指導要領 = ミニмумスタンダード (最低限の基準)
- ・教育の創意工夫は誰のため？
- ・学習指導要領がないと、地域格差や教師の思想の違いが子どもに不利益をもたらすのではないか
- ・教師が決められるのは何か？



第3回 授業づくり

問い：教師が授業を行う際、どのようなプロセスで授業を組立てているか？

教師が新しい視点を入れて授業をつくろうとする際、どのようなプロセスで授業を組み立てているか？

〔流れ〕

問いについて、グループで教員籍の方々に
インタビュー形式で対話を行う

〔教員籍の方々の声〕

- ・小学校では指導書を参考に。教科数が多く、初任のころは授業づくりが追いつかない現実があった。
- ・中学校は生徒の学力差が大きいため、授業を二重構造に。学力が高い生徒は退屈しない、低い生徒は心が折れないように工夫。
- ・高校では生徒たちの個性や学力を考え、生徒たちが「学びたい」と思うことを一番大切にして、追求していた
- ・本や他の人の実践を参考にしていた。

第4回 生徒指導



問い：教師が児童生徒と関わる際、どのようなことを意識しているか？

〔流れ〕

自分自身の生徒指導に関する経験を振り返り、
その時の先生の思いを想像する



問いについて、グループで教員籍の方々に
インタビュー形式で対話を行う

〔教員籍の方々の声〕

- ・「子どもを決まった型にはめる」→「あたりまえにのびのびできる環境を整える」と時代による変化がある
- ・面白い授業をすることは、生徒との信頼関係構築にプラスに働く。それにより生活面でも好循環を生む
- ・生徒の就職先など周囲からの学校の印象を考える

実施してみたの気づき

■「やってみないと分からない」

- 当日の参加者が考えることを予想するのが難しい
- 柔軟に内容を変更することを想定して動きたい
- 「やってみないと分からない」が怖かった
今後はその感覚を楽しめるようになりたい

■参加者に委ねること

- 「参加者にはこれに気付いてほしい」
「このことについて考えてほしい」
- マネプロ・ベーシック
= 参加者の自発的な学びを大切にした勉強会
- 委ねる = 勇気があること
今後より重視して取り組みたい

参加者の声

参加しやすい

- テーマが一回完結なので、休んだ回があっても参加しやすい
- 事前申し込みや事前準備が不要で負担の少ない形である

対話の時間

- 対話の時間がたっぷり確保されている
- 対話の時間やインプットの資料が、「ちょうど良い」バランスで練られている

時間が短い

- 基礎的な部分の理解という点では、時間が足りなく感じた
- 2時間あっという間だなという印象があり、半日でも良いなと感じました

参考資料があってもよいのでは

- 要領とかの資料読みの時間もあった方が知りたいこととか疑問が明確になるかも
- なんらか参考資料があってもよいのかな、とは思ったりします

今後に向けて考えたいこと

< 継続したいこと >

- ・参加しやすいこと
- ・ベーシックであること
- ・対話の時間が多いこと

今後に向けて考えたいこと

< 課題として考えたいこと >

- ・継続性
- ・コミュニティ

このような学び合いの場に参加する人の動機は何でしょうか？